

平成 26 年度

茨城県後期高齢者医療広域連合一般会計及び
同後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見書

茨城県後期高齢者医療広域連合 監査委員



茨高広監査発第 17 号
平成 27 年 7 月 7 日

茨城県後期高齢者医療広域連合長 豊田 稔 様

茨城県後期高齢者医療広域連合 監査委員 島崎 英 男



平成 26 年度茨城県後期高齢者医療広域連合一般会計及び
同後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 292 条において準用する同法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された、平成 26 年度茨城県後期高齢者医療広域連合一般会計・同後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書及び証書類、その他政令で定める書類について審査したので、その結果について次のとおり意見を提出する。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	2
第5	意 見	3
第6	審査の概要		
	I 平成26年度歳入歳出決算の概要	4
	II 一般会計	5
	III 後期高齢者医療特別会計	8
	IV 財産に関する調書	11

(注) 審査意見書中の数字等は、次により表示した。

- 1 比率は百分率で表示し、原則として小数点以下第2位を四捨五入としたが、端数調整の都合上これによらないものもある。
- 2 ー表示は、皆無若しくは不能、不定または省略を示す。
- 3 △表示はマイナスを表す。
- 4 その他、次の凡例による。

凡 例

名 称	内 容
構 成 比	$(\text{算出したい部分の金額} \div \text{それらの全体の合計金額}) \times 100$ 全体に占める割合を示す。
増 減 率	$\{ (\text{算出したい年度の金額} \div \text{その前年度の金額}) - 1 \} \times 100$ その部分の前年度と比較した増減の状況を示す。
収 入 率	$(\text{収入済額} \div \text{予算現額}) \times 100$ 予算現額に対する収入の割合を示す。
執 行 率	$(\text{支出済額} \div \text{予算現額}) \times 100$ 予算現額に対する予算執行の割合を示す。

平成 26 年度茨城県後期高齢者医療広域連合一般会計及び 同後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 26 年度茨城県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算書

一般会計歳入歳出決算

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

一般会計歳入歳出決算事項別明細書

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 27 年 6 月 26 日から平成 27 年 7 月 3 日まで

第 3 審査の方法

この審査にあたっては、広域連合長から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して調製されているか、決算の計数は正確であるか、予算は適正かつ効率的に執行されているか、収入及び支出に係る事務は関係法令に則って適正に処理されているか、財産は適正に管理されているか等に主眼をおき、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類との照合その他必要と認める審査を実施した。

第4 審査の結果

- 1 歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令の規定に準拠し、適正に調製されていることを確認した。
- 2 歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は、関係帳票類と照合した結果、いずれも誤りのないことを確認した。
- 3 現金残高及び預金残高は、例月出納検査の際の残高確認、証拠書類の検査等により誤りのないことを確認した。
- 4 歳入の調定、支出負担行為及び支出命令等予算執行は、適正と認められた。
- 5 財産に関する調書は、関係法令の規定に準拠して調製され、その内容は適正と認められた。
- 6 決算状況については、第6 審査の概要で述べる。
- 7 制度開始から8年目を迎え、広域連合は引き続き、被保険者の健康づくりや被保険者に対して療養の給付をはじめとした各種の医療給付を実施するため、市町村、茨城県及び他の広域連合と緊密な連携を図りながら、制度の安定的運営に努められた。

平成26年度の主要な施策

- ① 医療費の適正化
レセプト2次点検や医療費通知、重複頻回受診者訪問指導等を実施した。
- ② 保険料の軽減対策
平成25年度に引き続き、低所得者対策として、均等割額の軽減措置等を実施した。
- ③ 保健事業の推進
被保険者の利便性を考え、健康診査事業を、住所地の市町村に委託実施した。
- ④ 市町村との連携
市町村が行う広報活動、相談体制整備及び長寿・健康増進事業等について、国の補助金を活用し、取り組みを支援した。

第5 意見

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに同付属書類は、いずれもその計数が正確であると認められた。

また、予算の執行、経理事務及び財産の管理など財務に関する事務の執行については、実際の収支が収支命令に符合しており、適正に執行されているものと認められた。歳計現金の運用についても、残高状況の把握に努め対応可能な範囲の有利な方法で安全に行われていた。

業務の遂行に当たっては、効率的な事務の執行に努めていただきたい。機械的な処理をするだけでなく、弾力的に事務を行い、執行のスピード化を常に念頭に置くことを心掛けること。

また、当広域連合で可能な対応をすることで、医療費全体の削減についても努力すること。

後期高齢者医療制度については、今後も国の動向には注視し、県民の周知不足等による混乱を招くことのないよう備える必要があると考えられるが、当面、現制度の運用について構成市町村等との緊密な連携を図り、茨城県の被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した制度運営及び健全な財政運営に、なお一層努められたい。

第6 審査の概要

I 平成26年度歳入歳出決算の概要

一般会計及び特別会計を合わせた歳入歳出決算の総額は、

歳入決算額 2,944億5,840万5,726円

歳出決算額 2,852億3,787万2,416円

であり、歳入歳出決算差引額は、92億2,053万3,310円となった。

第1表 歳入歳出決算額

(単位:円)

会 計 \ 区 分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出決算 差 引 額
一般会計	834,319,367	831,306,819	3,012,548
後期高齢者医療特別会計	293,624,086,359	284,406,565,597	9,217,520,762
合 計	294,458,405,726	285,237,872,416	9,220,533,310

II 一般会計

1 決算の概要

平成26年度歳入決算額は、8億3,432万円で、前年度と比較し2,091万円(2.6%)の増となった。

一方、歳出決算額は8億3,131万円で、前年度と比較し2,338万円(2.9%)の増となった。

この結果、歳入歳出差引額は301万円で、前年度と比較し247万円(45.0%)の減となり、実質収支は、翌年度に繰越すべき財源がないので、同額の247万円の減である。

第2表 歳入歳出決算額比較

(単位：円、%)

区 分	歳 入		歳 出		歳入歳出差引	
	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率
25年度	813,406,185	△12.4	807,925,173	△12.1	5,481,012	△46.8
26年度	834,319,367	2.6	831,306,819	2.9	3,012,548	△45.0

第3表 歳入歳出決算収支比較

(単位：円、%)

区 分	25年度			26年度		
	決算額	増減額	増減率	決算額	増減額	増減率
1 歳入総額 A	813,406,185	△115,520,007	△12.4	834,319,367	20,913,182	2.6
2 歳出総額 B	807,925,173	△110,697,372	△12.1	831,306,819	23,381,646	2.9
3 差引額 (形式収支額) C=A-B	5,481,012	△4,822,635	△46.8	3,012,548	△2,468,464	△45.0
4 繰越財源	(1) 継続費 過次繰越額	0	—	0	0	—
	(2) 繰越明 許費繰越額	0	—	0	0	—
	(3) 事故繰 越し繰越額	0	—	0	0	—
	計 D	0	—	0	0	—
5 実質収支額 E=C-D	5,481,012	△4,822,635	△46.8	3,012,548	△2,468,464	△45.0

2 歳入

平成26年度歳入決算額は、8億3,432万円であり、内訳は、分担金及び負担金8億2,615万円（総額の99.0%）、繰越金548万円（同0.6%）、諸収入142万円（同0.2%）などとなっている。

第4表 歳入決算状況

（単位：円、%）

款	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	収入率 C/A	構成比
1 分担金及び 負担金	826,146,000	826,146,023	826,146,023	0	0	100.0	99.0
2 財産収入	810,000	808,923	808,923	0	0	99.9	0.1
3 繰入金	464,000	462,888	462,888	0	0	99.8	0.1
4 繰越金	5,481,000	5,481,012	5,481,012	0	0	100.0	0.6
5 諸収入	1,630,000	1,420,521	1,420,521	0	0	87.1	0.2
歳入合計	834,531,000	834,319,367	834,319,367	0	0	100.0	100.0

第5表 款別歳入決算額比較

（単位：円、%）

款	25年度				26年度			
	決算額	構成 比	増減額	増減率	決算額	構成 比	増減額	増減率
1 分担金及び 負担金	800,753,983	98.4	△103,580,037	△11.5	826,146,023	99.0	25,392,040	3.2
2 財産収入	579,271	0.1	△3,257	△0.6	808,923	0.1	229,652	39.6
3 繰入金	0	0.0	0	—	462,888	0.1	462,888	皆増
4 繰越金	10,303,647	1.3	△5,228,194	△33.7	5,481,012	0.6	△4,822,635	△46.8
5 諸収入	1,769,284	0.2	△6,708,519	△79.1	1,420,521	0.2	△348,763	△19.7
歳入合計	813,406,185	100.0	△115,520,007	△12.4	834,319,367	100.0	20,913,182	2.6

3 歳 出

平成26年度歳出決算額は8億3,131万円であり、内訳は、民生費5億7,831万円（総額の69.6%）、総務費2億5,204万円（同30.3%）、議会費95万円（同0.1%）となっている。

第6表 歳出決算状況

（単位：円、%）

款	予算現額 A	支出済額 B	不用額 A-B	執行率 B/A	翌年度 繰越額	構成比
1 議会費	1,148,000	951,209	196,791	82.9	0	0.1
2 総務費	254,067,000	252,041,412	2,025,588	99.2	0	30.3
3 民生費	578,315,000	578,314,198	802	100.0	0	69.6
4 公債費	1,000	0	1,000	0.0	0	0.0
5 予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0	0	0.0
歳出合計	834,531,000	831,306,819	3,224,181	99.6	0	100.0

第7表 款別歳出決算額比較

（単位：円、%）

款	25年度				26年度			
	決算額	構成 比	増減額	増減率	決算額	構成 比	増減額	増減率
1 議会費	1,055,992	0.1	91,726	9.5	951,209	0.1	△104,783	△9.9
2 総務費	251,615,672	31.2	△19,062,778	△7.0	252,041,412	30.3	425,740	0.2
3 民生費	555,253,509	68.7	△91,726,320	△14.2	578,314,198	69.6	23,060,689	4.2
4 公債費	0	0.0	0	—	0	0.0	0	—
5 予備費	0	0.0	0	—	0	0.0	0	—
歳出合計	807,925,173	100.0	△110,697,372	△12.1	831,306,819	100.0	23,381,646	2.9

Ⅲ 後期高齢者医療特別会計

1 決算の概要

平成26年度歳入決算額は、2,936億2,409万円で、前年度と比較し128億7,477万円(4.6%)の増となった。

一方、歳出決算額は、2,844億657万円で、前年度と比較し、92億9,506万円(3.4%)の増となった。

この結果、歳入歳出差引額は、92億1,752万円となり、前年度と比較し35億7,971万円(63.5%)の増となり、実質収支は、翌年度に繰越すべき財源がないので、同額の35億7,971万円の増である。

第8表 歳入歳出決算額比較

(単位：円、%)

区 分	歳 入		歳 出		歳入歳出差引	
	決算額	増減率	決算額	増減率	決算額	増減率
25年度	280,749,320,671	5.3	275,111,509,757	5.6	5,637,810,914	△8.9
26年度	293,624,086,359	4.6	284,406,565,597	3.4	9,217,520,762	63.5

第9表 歳入歳出決算収支比較

(単位：円、%)

区 分	25年度			25年度		
	決算額	増減額	増減率	決算額	増減額	増減率
1 歳入総額 A	280,749,320,671	14,104,282,325	5.3	293,624,086,359	12,874,765,688	4.6
2 歳出総額 B	275,111,509,757	14,656,229,818	5.6	284,406,565,597	9,295,055,840	3.4
3 差引額 (形式収支額) C=A-B	5,637,810,914	△551,947,493	△8.9	9,217,520,762	3,579,709,848	63.5
4 繰越財源	(1) 継続費 繰越額	0	—	0	0	—
	(2) 繰越明 許費繰越額	0	—	0	0	—
	(3) 事故繰 越し繰越額	0	—	0	0	—
	計 D	0	—	0	0	—
5 実質収支額 E=C-D	5,637,810,914	△551,947,493	△8.9	9,217,520,762	3,579,709,848	63.5

2 歳入

平成26年度歳入決算額は、2,936億2,409万円であり、内訳は、支払基金交付金1,140億4,117万円（総額の38.9%）、国庫支出金1,001億7,552万円（同34.1%）、市町村負担金472億472万円（同16.1%）、などとなっている。

第10表 歳入決算状況

(単位：円、%)

款	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	収入率 C/A	構成比
1 市町村負担金	46,564,041,000	47,204,717,879	47,204,717,879	0	0	101.4	16.1
2 国庫支出金	92,938,652,000	100,175,519,405	100,175,519,405	0	0	107.8	34.1
3 県支出金	22,868,718,000	22,868,716,112	22,868,716,112	0	0	100.0	7.8
4 支払基金交付金	113,047,807,000	114,041,170,487	114,041,170,487	0	0	100.9	38.9
5 特別高額医療費 共同事業交付金	43,080,000	65,429,841	65,429,841	0	0	151.9	0.0
6 財産収入	2,342,000	2,341,894	2,341,894	0	0	100.0	0.0
7 繰入金	3,318,686,000	3,261,698,420	3,261,698,420	0	0	98.3	1.1
8 繰越金	5,637,810,000	5,637,810,914	5,637,810,914	0	0	100.0	1.9
9 県財政安定化 基金借入金	1,000	0	0	0	0	0.0	0.0
10 諸収入	353,031,000	426,541,305	366,681,407	14,009,792	45,850,106	103.9	0.1
歳入合計	284,774,168,000	293,683,946,257	293,624,086,359	14,009,792	45,850,106	103.1	100.0

第11表 款別歳入決算額比較

(単位：円、%)

款	25年度				26年度			
	決算額	構成 比	増減額	増減率	決算額	構成 比	増減額	増減率
1 市町村負担金	45,612,364,397	16.2	1,746,701,848	4.0	47,204,717,879	16.1	1,592,353,482	3.5
2 国庫支出金	93,192,694,388	33.2	2,341,140,481	2.6	100,175,519,405	34.1	6,982,825,017	7.5
3 県支出金	22,221,562,423	7.9	47,636,629	0.2	22,868,716,112	7.8	647,153,689	2.9
4 支払基金交付金	110,763,192,000	39.5	4,529,354,000	4.3	114,041,170,487	38.9	3,277,978,487	3.0
5 特別高額医療費 共同事業交付金	48,998,507	0.0	5,354,275	12.3	65,429,841	0.0	16,431,334	33.5
6 財産収入	907,820	0.0	78,766	9.5	2,341,894	0.0	1,434,074	158.0
7 繰入金	2,360,864,975	0.9	△64,594,423	△2.7	3,261,698,420	1.1	900,833,445	38.2
8 繰越金	6,189,758,407	2.2	5,464,857,462	753.9	5,637,810,914	1.9	△551,947,493	△8.9
9 県財政安定化 基金借入金	0	0.0	0	—	0	0.0	0	—
10 諸収入	358,977,754	0.1	33,753,287	10.4	366,681,407	0.1	7,703,653	2.1
歳入合計	280,749,320,671	100.0	14,104,282,325	5.3	293,624,086,359	100.0	12,874,765,688	4.6

3 歳 出

平成 26 年度歳出決算額は、2,844 億 657 万円であり、内訳は、保険給付費 2,756 億 8,773 万円（総額の 96.9%）、諸支出金 57 億 8,517 万円（同 2.1%）、基金積立金 17 億 6,801 万円（同 0.6%）などとなっている。

第 12 表 歳出決算状況

(単位：円、%)

款	予算現額 A	支出済額 B	不用額 A-B	執行率 B/A	翌年度 繰越額	構成比
1 総務費	600,037,000	594,356,816	5,680,184	99.1	0	0.2
2 保険給付費	276,005,126,000	275,687,734,616	317,391,384	99.9	0	96.9
3 県財政安定化 基金拠出金	74,922,000	74,922,000	0	100.0	0	0.0
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	43,280,000	43,272,719	7,281	100.0	0	0.0
5 保健事業費	494,429,000	453,102,474	41,326,526	91.6	0	0.2
6 基金積立金	1,768,129,000	1,768,005,876	123,124	100.0	0	0.6
7 公債費	2,889,000	0	2,889,000	0.0	0	0.0
8 諸支出金	5,785,356,000	5,785,171,096	184,904	100.0	0	2.1
歳出合計	284,774,168,000	284,406,565,597	367,602,403	99.9	0	100.0

第 13 表 款別歳出決算額比較

(単位：円、%)

款	25 年度				26 年度			
	決算額	構成 比	増減額	増減率	決算額	構成 比	増減額	増減率
1 総務費	581,152,935	0.2	△60,179,401	△9.4	594,356,816	0.2	13,203,881	2.3
2 保険給付費	267,469,279,500	97.2	10,816,261,694	4.2	275,687,734,616	96.9	8,218,455,116	3.1
3 県財政安定化 基金拠出金	200,006,784	0.1	△216	0.0	74,922,000	0.0	△125,084,784	△62.5
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	34,049,386	0.0	△3,835,110	△10.1	43,272,719	0.0	9,223,333	27.1
5 保健事業費	450,760,821	0.2	71,305,709	18.8	453,102,474	0.2	2,341,653	0.5
6 基金積立金	1,592,699,950	0.6	△139,909,806	△8.1	1,768,005,876	0.6	175,305,926	11.0
7 公債費	0	0.0	0	—	0	0.0	0	—
8 諸支出金	4,783,560,381	1.7	3,972,586,948	489.9	5,785,171,096	2.1	1,001,610,715	20.9
歳出合計	275,111,509,757	100.0	14,656,229,818	5.6	284,406,565,597	100.0	9,295,055,840	3.4

IV 財産に関する調書

(1) 債権

(単位：円)

区 分	前年度末現在額	決算年度増減額	決算年度末現在高
債 権	555,000	52,000	607,000

歳入に係る債権以外の債権については、職員用公舎敷金 607,000 円となっている。

(2) 基金

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額	決算年度末現在高
財政調整基金	30,900,812	7,725	30,908,537
後期高齢者医療給付費準備基金	5,204,210,501	△796,871,514	4,407,338,987
後期高齢者医療制度臨時特例基金	467,993,834	△118,969,720	349,024,114
合 計	5,703,105,147	△915,833,509	4,787,271,638

基金については、関係諸帳簿と照合した結果、適正に管理運用されていると認められた。

